原稿の題名は14ポイント・ゴシックです

—副題がある場合も同じサイズです—

# Title of document will be printed with eleven points Arial

- the same font size will be used for subtitle -

地すべり学会誌編集委員会：11ポイント明朝

Editorial committee of Journal of the Japan Landslide Society: eight point Times New Roman

Abstract

Manuscripts submitted to categories of “Lead article”, “Original article”, “Research note” and “Review” should contain “Abstract” written in English and in the case that the manuscript is written in Japanese, “Abstract” in Japanese is needed as well. “Abstract” is not required for manuscripts submitted to categories of “technical report” and “News”. Times New Roman 8 points.

Key words: abstract, English, Japanese, technical report, Arial 8 points

和文要旨

巻頭論文、論文、研究ノート、総説区分に投稿される原稿には、英文要旨が必要です。また、これらの投稿区分に投稿される原稿のうち本文が日本文の場合には、日本文の要旨も必要です。報告区分に投稿される原稿には要旨は不要です。８ポイントの明朝系フォントで印刷されます。

キーワード：要旨、日本語、英語、技報告、キーワードはゴシック体８ポイント

１．　はじめに（章・節・項のタイトルは９ポイントゴシック）

約24.2mm

題名の上面は紙の上端から34mm

（本文は９ポイント明朝体）この資料は，学会誌掲載書式に近い形式（以下「掲載書式付き」）で投稿する著者の参考として作成したものです。投稿原稿は，希望するレイアウトに組んだ上でお送り下さい（文章と図表を別々にする方法も可とします）。執筆にあたっては執筆要領４（本資料4章に抜粋して引用あり）参照のこと。掲載書式付きによる投稿は、あくまで、仕上がりイメージを確認しながら査読を行うためのものであり、出版時のレイアウトを保証するものではありません。

約18.9mm

２．注意

2.1　印刷書式（節の前は空白行を入れない）

著者が原稿作成に用いるアプリケーションと印刷機の書式指定方法には差異があります。最終的な仕上がりは投稿時に著者が作成した形式とは完全には一致しません。

資料2

2.2　図表の解像度（節の前は空白行を入れない）

著者の所属等が入る部分６ポイント明朝

約18.9

2.3　フォントなど

表—１にページ書式，フォントなどを示します。第3章は項の書式を示すためのダミーです。

３．○○○○

3.1　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.1.1　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.1.2　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.1.3　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.2　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.3　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

約24.4mm

４．図・表・写真

この章に記載されているのは，執筆要領第4章を抜粋したものです。

4.1　番号

図・表・写真には，図-1，表-1，写真-1，Fig.1，Table 1，Photo 1 のようにそれぞれ通し番号をつけて下さい。。

4.2　位置

図・表・写真は刷り上がり原稿をイメージし，本文中に記載すること。本文中に表示することが困難である場合は，本文中に図の位置を明記し，図表は文末に別添としてください。

4.3　図表の大きさと書き方

図表は原則として片段(巾80mm)または両段(巾170mm)で割り付けられます。図表は刷り上がりイメージを念頭に原稿中に挿入すること。また，文字・罫線ははっきりと判読できるよう大きさ・太さを十分に考慮すること。

4.4　表題・説明文

「論文」，「研究ノ－ト」，「巻頭論文」および「総説」における図・表・写真の表題・説明文は本文が和文の場合，和文・英文併記とし、本文が英文の場合は英文とする。また，表題と説明文の区分を明確にしておくこと。

4.5　写真

写真は原稿の印刷を希望する箇所に挿入すること。なお，本文中に挿入しがたいときは，本文に写真の挿入位置を明示し，別途写真を送付しても良い。その場合は、印画紙（光沢紙）に焼き付けたもの，あるいはプリンタ等で印刷したものを添付し，写真の天地を誤る恐れがある場合には，裏面に上下の印をつけること。

表—１　ページ書式設定値（図表のタイトルは9ポイントゴシック(Arial)）

図表の説明は9ポイント明朝(Times New Roman)

|  |  |
| --- | --- |
| 上余白 | 約24.4mm |
| 下余白 | 約24.4mm |
| 右余白 | 約18.9mm |
| 左余白 | 約18.9mm |
| １行の文字数 | 25文字 |
| １ページの行数 | 50行 |
| 本文フォント | ９ポイント、明朝系\*  |
| 章フォント | ９ポイント、ゴシック系\*\* |

＊例：MS明朝，ヒラギノ明朝，Times New Roman

＊＊例：MSゴシック，ヒラギノ角ゴシック，Arial

原稿がカラ－写真で刷り上がりがモノクロ印刷の場合，コントラストが不鮮明にならないよう，特に文字・矢印などを書き込む場合や鮮明なコントラストが必要な場合には判別ができるよう注意すること。

4.6　カラ－印刷など

図・表・写真等は原則としてモノクロ印刷とする。カラ－印刷や折り込みなど特殊図版を希望する場合は投稿票に明示すること。この場合，原則として著者の実費負担とする。

4.7　出典の明記

図・表・写真などを他の著作物から引用する場合には、出典を必ず明記し，かつ必要に応じて原著者の了解を得ること。

引用文献

下記①、②の形式のいずれかを使用すること。なお、日本地すべり学会誌（地すべり）の会誌名は、Vol. 39以前は「地すべり」，Vol. 40以降は「日本地すべり学会誌」である（引用文献は８ポイント明朝体）。

**①**本文の右肩上に番号と片カッコを付け，この番号順に文末にまとめて記載する場合。

――例――

1)地すべり太郎・地すべり華子・地すべり次郎・地すべり良子(2003)：地すべりの地形的特徴と地質の関係に関する研究，地すべり，Vol. 39，No.5，pp. 1—9．

2)学会誌太郎、学会誌華子(2003)：繰り返し一面せん断試験による静電気の発生量とせん断応力の関係について，日本地すべり学会誌，Vol. 40，No.1，pp. 104—110．

3)投稿太郎(1999)：投稿された論文数とその質についての一考察，○○学会論文集，Vol. ○，No.○，pp. 25—30．.

4)（社）日本地すべり学会(2005)：地すべり(Landslides)－地形地質的認識と用語－, 日本地すべり学会, ○p.

5)Terzaght, K., Casagrande, A. and Janbu, N. (2000)：History of Soil Mechanics and Slope Stability, Jour. of Japan Landslide Soc.,Vol.37 ,No.7, pp.1 - 80.

6) Varnes, D. J. (1958)： Landslide Types and Processes, In. Landslides and Engineering Practice (Eckel, E. B., ed.), HRB, Special Rept. 29, pp. 20 - 47.

**②** 本文中に著者名と発表年数などを示す場合。

この場合、引用文献は著者名のアルフアベット順に記載し，本文中には，該当著者名に（年号）あるいは，事項に（著者名、年号）をつけて引用すること。なお，同一著者名で同一年号の場合には，年号の後に発表順にa.b.cをつける。この場合も①同様に，著者名（年号）：論文名，雑誌名，巻号，引用ペ－ジの順に書くこと。